

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	伊波 恵里	学年(渡航時)	3
派遣先大学	ノースイースタン・イリノイ大学		
国・地域	アメリカ・イリノイ州シカゴ		
派遣期間	2024	年	1 月 ~ 2024 年 12 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Introduction to Audio Production	インタビューやニュースクリップの録音と編集の技術を学ぶ
Introduction to Video Production	インタビューなどの撮影を通してカメラワークと編集の技術を学ぶ
Television History	アメリカの戦後のテレビの技術発展と番組の歴史を読み解く
Class Guitar 1	ギターの初心者向け授業
Instrumental Ensemble: Jazz Band	ジャズのビッグバンドに参加し、演奏会に出演する
2 学期目	
履修科目	授業内容
Introduction to Journalism	ジャーナリストとしての基礎知識、倫理観を学ぶ
Introduction to Cinema	映画をカメラワーク、編集などの視点から批判的に読み取る
Mass Media & Society	アメリカ社会とマスメディアのかかわりを学ぶ
The Musical Experience	オーケストラの楽器を学ぶ

留学レポート(1,500 字以上)

私の留学経験は、精神面、学習面、そして生活面において大きな変化をもたらし、自己成長の貴重な契機となりました。留学前は非常に内向的で、新しい環境に対する不安が強く、挑戦を避ける傾向がありました。しかし、留学先で異文化に触れ、多国籍なルームメイトや現地の学生と関わる中で、次第に自分を信じる力がつき、困難な状況に直面しても積極的に挑戦する姿勢を学びました。最初は、日常生活の中でちょっとしたコミュニケーションの壁にも苦労しましたが、その経験を通じて自分に自信を持つことができ、今では新しい環境への挑戦を楽しみとを感じるようになりました。

学習面においても、留学を通じて大きな成長を遂げました。日本の大学とは異なり、留学先では自己管理能力が求められました。授業は進行ペースが速く、課題や試験も多いため、自分のペースで効率よく学習を進めることが重要でした。最初は何から始めればよいかわからず戸惑いましたが、平日は寮の学習室に通い、計画的に課題を進めることができるようになりました。また、他の留学生と学び合う機会も多く、互いに切磋琢磨しながら学習を進めることができました。さらに、ディスカッション形式の授業が多く、自分の英語力を高めるだけでなく、異なる文化や社会背景を持つ学生たちと意見交換をすることができました。特に、日本の社会背景とは異なるアメリカ社会を理解することが大きな学びとなりました。

私は映像制作やオーディオ制作に関する実践的な講義をとりました。映像制作においては、カメラを使って撮影を行い、編集ソフトウェアを使用して作品を完成させる過程を学ぶことができました。また、オーディオ制作の授業では、録音環境の重要性やオーディオの編集技術について学び、メディア制作における音の役割を深く理解することができました。

加えて、特に印象的だった授業は、「Mass Media & Society」という授業です。この授業では、映画や SNS、

広告などのメディアが社会に与える影響について深く学びました。特に、広告が人々の意識や行動に与える強い影響力についての理解が深まり、広告が社会の価値観や消費行動を形成するプロセスを学ぶことができました。また、大企業がメディアを利用して市場を支配する仕組みについても分析し、その影響力の大きさを実感しました。こうした学びは、私がメディアに対して抱いていた関心を深め、新たな視点を与えてくれました。さらに、授業内でのディスカッションや現地学生との意見交換を通じて、アメリカのメディアが社会や文化に与える影響についても多くを学びました。このように、留学中の授業では実践的なスキルや視野を広げることができ、将来のキャリアにとって非常に有益な経験となりました。

生活面でも多くの変化がありました。最初は、異国の通貨や物価に戸惑いましたが、毎月の予算を立て、無駄遣いを控えるよう心がけることで、金銭面での管理能力を身に付けることができました。また、ルームメイトとの共同生活では、価値観の違いや生活習慣の違いからトラブルもありましたが、毎月のルームメイトとの話し合いを通じて改善し、互いに尊重し合うことの大切さを学びました。これらの経験を通して、柔軟な対応力やコミュニケーション力が高まり、生活全般において自分をよりよくマネジメントできるようになったと感じています。

日本とアメリカの教育システムの違いについても多くのことに気づきました。特に、学生の積極的な参加姿勢が印象的でした。アメリカでは、授業中に学生が自分の意見を積極的に発表し、教授と対話型の授業が展開されていました。このスタイルは、日本の授業に比べてよりオープンで柔軟であり、自分の意見を表現することの重要性を再認識させてくれました。また、学生と教授の距離感が非常に近く、授業後に教授と個別に話す機会が多く提供され、学問的な意見交換が積極的に行われていました。このような環境で学びを深めることができ、非常に刺激的でした。

勉強以外でも、日本では経験できなかった出来事が多くありました。特に、留学生として多くの国の友人を作ることができたことが印象に残っています。ヨーロッパ、アジア、南米など、さまざまな国から来た留学生と出会い、文化や価値観を学び合うことができました。国際交流クラブでのイベント企画のチームに入り、伝統料理を披露したり、ダンスパーティーを開催したりすることで、異文化交流を楽しみました。特に、日本食を紹介するイベントでは、日本文化を他国の学生と共有することができ、非常に貴重な経験となりました。

これらの経験を通じて、私は自分の成長を実感しました。留学前は不安が多かったものの、多くの挑戦を通じて精神的に強くなり、学びの面でも自己管理能力やディスカッションスキルの向上に加えて、専門分野の理解が深まりました。また、異文化との交流を通じて、国際的な視野が広がり、多様な価値観に触れることができました。この経験は、今後の人生においても大きな財産となり、次のステップへの準備となったと感じています。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



シカゴピザをルームメイトと食べに行ったときの写真



1学期の修了時に留学生で撮った集合写真



シカゴの街並み



シカゴリリックオペラにて「アイーダ」の観劇



NBA 観戦 シカゴブルズ対メンフィス